

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年10月末）

～オレオレ詐欺の予兆電話にご注意！～

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年10月末）

- 被害認知件数は**99件**（前年同期比+22件）
- 被害総額は**約1億8,800万円**（前年同期比-約4,530万円）

2 令和4年10月の認知状況

- 被害認知件数は**11件**（前年同月比+1件）
- 被害額は**約556万円**（前年同月比-約283万円）
- 手口別の認知件数
 - ・ 架空料金請求詐欺 **9件**
 - ・ オレオレ詐欺 **1件**
 - ・ 預貯金詐欺 **1件**

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年10月中）

10月中は、パソコンに「ウイルスに感染しました」などと表示させ修理費用を請求する手口（サポート詐欺）、有料サイトの未払いがある等と架空の未納料金を請求する手口での被害が複数ありました。

また、佐世保市内では医療機関(病院)の職員から「息子さんが喉の手術をしました。声が出なくなる可能性があります。」などと連絡があった後、息子を装って「病院にいることは他の人には黙っておいてくれ。」などという不審電話が複数確認されたほか、県内各地で警察官を名乗って「詐欺の犯人を逮捕した。押収した名簿の中に貴方の名前が載っていました。」などといったオレオレ詐欺の前兆とみられる不審電話も相次いでいます。

電話がかかってきた場合は、一旦電話を切り、家族（息子本人）や警察に連絡をして事実確認を行いましょう。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年10月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	1	-	1
20～29	3	2	5
30～39	1	3	4
40～49	3	4	7
50～59	10	4	14
60～64	4	9	13
65～69	12	11	23
70～79	11	11	22
80～89	4	6	10
90～	-	-	-
合計	49	50	99
うち65歳以上の高齢者	27	28	55

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年10月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	38
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	5
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	3
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	50
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	99